

# Catalyst 9800 WLCを使用したDNAスペースキャプティブポータルの設定

## 内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[9800コントローラをCisco DNA Spaceに接続する](#)

[DNAスペースでのSSIDの作成](#)

[9800コントローラでのACLおよびURLフィルタの設定](#)

[DNAスペース上のRADIUSサーバを使用しないキャプティブポータル](#)

[9800コントローラでのWeb認証パラメータマップの設定](#)

[9800コントローラでSSIDを作成します](#)

[9800コントローラでのポリシープロファイルの設定](#)

[9800コントローラでのポリシータグの設定](#)

[DNAスペース上のRADIUSサーバを使用したキャプティブポータル](#)

[9800コントローラでのWeb認証パラメータマップの設定](#)

[9800コントローラでのRADIUSサーバの設定](#)

[9800コントローラでSSIDを作成します](#)

[9800コントローラでのポリシープロファイルの設定](#)

[9800コントローラでのポリシータグの設定](#)

[グローバルパラメータマップの設定](#)

[DNAスペースにポータルを作成する](#)

[DNAスペースでのキャプティブポータルルールの設定](#)

[DNA空間から具体的な情報を得る](#)

[DNA空間が使用するIPアドレスは何ですか。](#)

[DNAスペースログインポータルが使用するURLは何ですか。](#)

[DNAスペースのRADIUSサーバの詳細は何ですか。](#)

[確認](#)

[トラブルシュート](#)

[一般的な問題](#)

[常時オンのトレース](#)

[条件付きデバッグとラジオアクティブトレース](#)

[成功した試行の例](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco DNA Spaceでキャプティブポータルを設定する方法について説明

します。

## 前提条件

このドキュメントでは、Catalyst 9800ワイヤレスLANコントローラ(C9800 WLC)上のクライアントが外部Web認証ログインページとしてDNAスペースを使用できるようにします。

## 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- 9800ワイヤレスコントローラへのコマンドラインインターフェイス(CLI)またはグラフィックユーザインターフェイス(GUI)アクセス
- Cisco DNA Spaces

## 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- 9800-Lコントローラバージョン16.12.2s

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 背景説明

Web認証は、サブリカントやクライアントユーティリティを必要としないシンプルなレイヤ3認証方式です。これは可能です

- a) C9800 WLCの内部ページを現状のまま、または変更をポストして
- b)カスタマイズされたログインバンドルをC9800 WLCにアップロードする
- c)外部サーバでホストされるカスタムログインページ

DNA Spacesが提供するキャプティブポータルを活用することは、基本的にC9800 WLC上のクライアントに外部Web認証を実装する方法です。

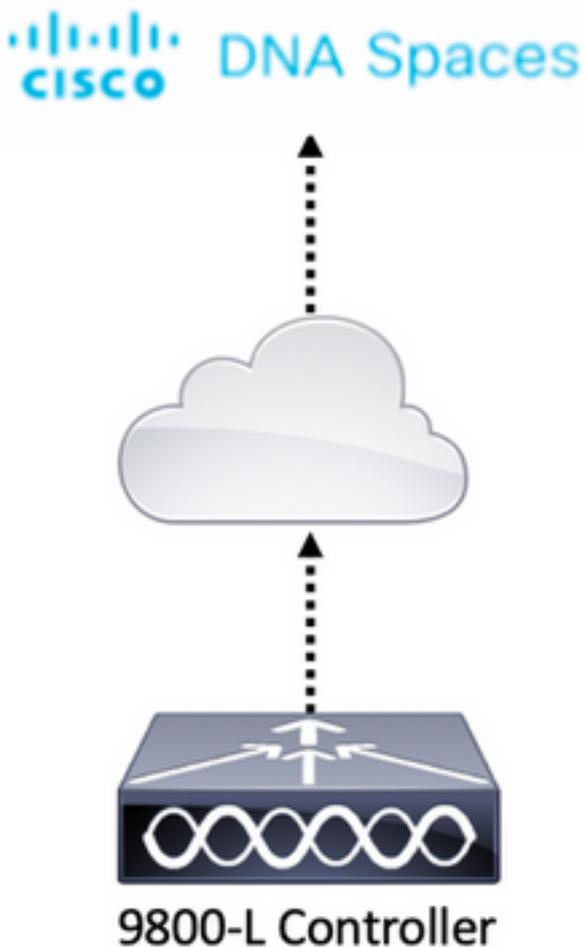
外部webauthプロセスの詳細については、次のサイトを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/wireless/controller/9800/config-guide/web-authentication/b-configuring-web-based-authentication-on-cisco-catalyst-9800-series-controllers/m-external-web-authentication-configuration.html>

C9800 WLCでは、仮想IPアドレスはグローバルパラメータマップで定義され、通常は192.0.2.1です

## 設定

## ネットワーク図



### 9800コントローラをCisco DNA Spaceに接続する

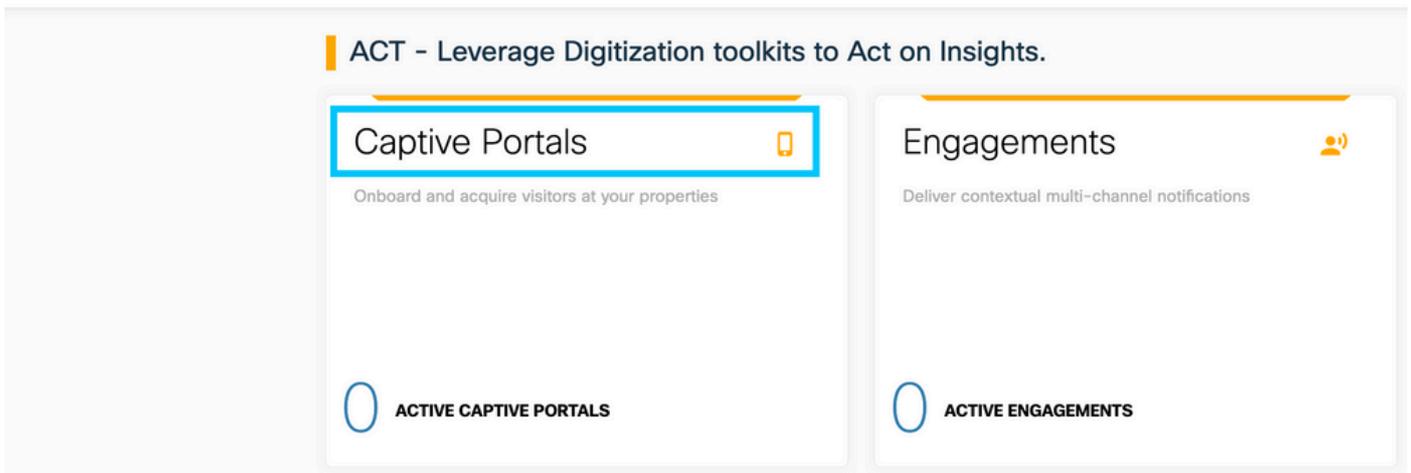
コントローラは、DNAスペースコネクタを介して、またはCMXテザリングを使用して、Direct ConnectのいずれかのオプションでDNAスペースに接続する必要があります。

この例では、[Direct Connect]オプションが使用されていますが、キャプティブポータルはすべての設定に対して同じ方法で設定されています。

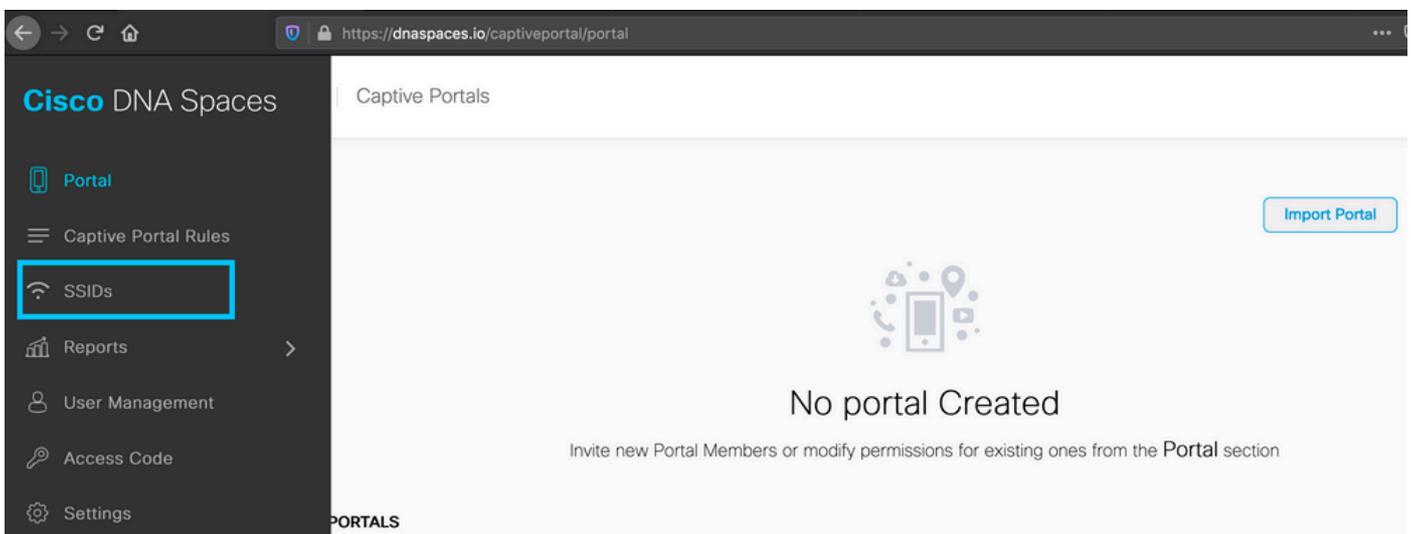
コントローラをCisco DNA Spacesに接続するには、HTTPS経由でCisco DNA Spaces Cloudに到達する必要があります。9800コントローラをDNAスペースに接続する方法の詳細については、次のリンクを参照してください。[DNA Spaces - 9800 Controller Direct Connect](#)

### DNAスペースでのSSIDの作成

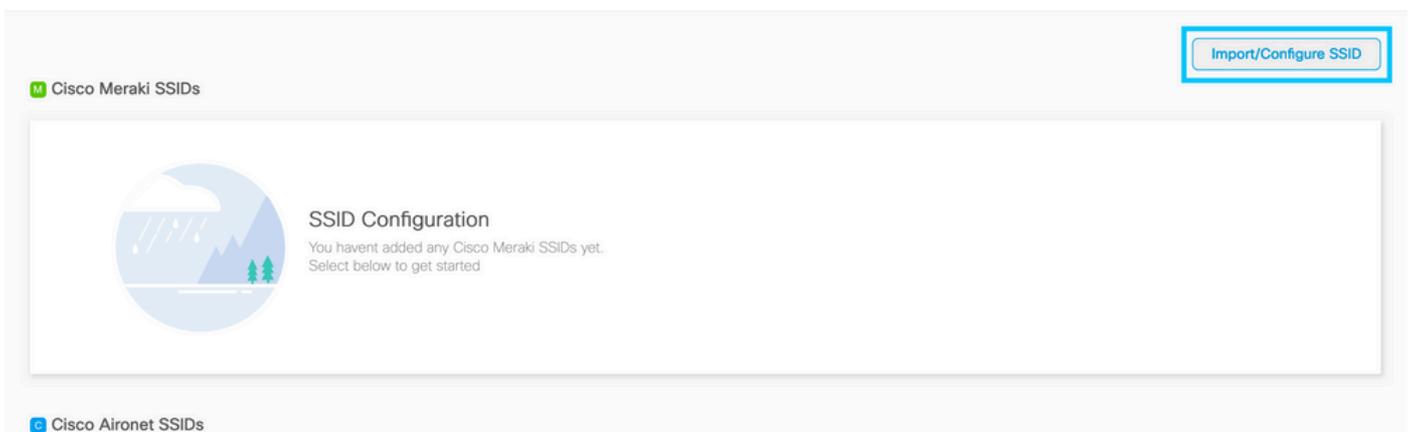
ステップ 1 : DNA Spacesのダッシュボードで[Captive Portals] をクリックします。



ステップ 2 : キャプティブポータルの特定のメニューを開き、ページの左上隅にある3行のアイコンをクリックし、[SSIDs:



ステップ 3 : [Import/Configure SSID] をクリックし、[Wireless Network]タイプとして[CUWN (CMX/WLC)] を選択し、SSID名を入力します。



## 9800コントローラでのACLおよびURLフィルタの設定

ワイヤレスクライアントからのトラフィックは、認証が完了するまでネットワーク上で許可されません。Web認証の場合、これを完了するために、ワイヤレスクライアントはこのSSIDに接続し

、IPアドレスを受け取り、クライアントポリシーマネージャの状態はWebauth\_reqd状態に移行します。クライアントはまだ認証されていないため、クライアントIPアドレスから発信されるすべてのトラフィックは、DHCP、DNS、およびHTTP ( 代行受信され、リダイレクトされる ) を除いて廃棄されます。

デフォルトでは、Web認証WLANを設定すると、9800はハードコードされた事前認証ACLを作成します。これらのハードコードACLにより、DHCP、DNS、および外部Web認証サーバへのトラフィックが許可されます。残りはすべて、HTTPトラフィックと同様にリダイレクトされます。ただし、特定の非HTTPトラフィックタイプの通過を許可する必要がある場合は、事前認証ACLを設定できません。次に、既存のハードコードされた事前認証ACL ( このセクションのステップ1で説明 ) の内容を模倣し、必要に応じて拡張する必要があります。

ステップ 1 : 現在のハードコードされたACLの確認

CLI による設定 :

```
Andressi-9800L#show ip access list
```

```
Extended IP access list WA-sec-34.235.248.212
```

```
10 permit tcp any host 34.235.248.212 eq www
20 permit tcp any host 34.235.248.212 eq 443
30 permit tcp host 34.235.248.212 eq www any
40 permit tcp host 34.235.248.212 eq 443 any
50 permit tcp any any eq domain
60 permit udp any any eq domain
70 permit udp any any eq bootpc
80 permit udp any any eq bootps
90 deny ip any any
```

```
Extended IP access list WA-v4-int-34.235.248.212
```

```
10 deny tcp any host 34.235.248.212 eq www
20 deny tcp any host 34.235.248.212 eq 443
30 permit tcp any any eq www
40 permit tcp any host 192.0.2.1 eq 443
```

WA-sec-34.235.248.212は、自動Web認証(WA)セキュリティ(sec)ACLまたはポータルIP「34.235.248.212」であるため、そのように呼ばれます。セキュリティACLは、許可(permit)またはドロップ(deny)を定義します。

Wa-v4-intは代行受信ACLです。これはパントACLまたはリダイレクトACLであり、リダイレクト用に ( permitで ) CPUに送信される内容または ( denyで ) データプレーンに送信される内容を定義します。

WA-v4-int34.235.248.212は、クライアントから送信されるトラフィックに最初に適用され、データプレーン上のDNA SpacesポータルIP 34.235.248.212に向かうHTTP(s)トラフィックを保持します ( ドロップまたは転送アクションはまだ行われず、データプレーンに渡すだけです )。Webサーバによって処理される仮想IPトラフィックを除くリダイレクション用に、すべてのHTTPトラフィックをCPUに送信します。データプレーンには、他のタイプのトラフィックが与えられます。

WA-sec-34.235.248.212は、Web認証パラメータマップで設定したDNA空間IP 34.235.248.212へのHTTPおよびHTTPSトラフィックを許可し、DNSおよびDHCPトラフィックも許可し、残りはドロップします。代行受信されるHTTPトラフィックは、このACLに到達する前にすでに代行受信されているため、このACLでカバーされる必要はありません。

注:ACLで許可されるDNAスペースのIPアドレスを取得するには、「ACL設定」セクションの「DNAスペースでのSSIDの作成」セクションのステップ3で作成したSSIDから、[Configure Manually] オプションをクリックします。例は、このドキュメントの最後にある「DNAスペースが使用するIPアドレスは何ですか」の項にあります。

DNAスペースは2つのIPアドレスを使用し、手順1のメカニズムでは1つのポータルIPのみを許可します。より多くのHTTPリソースへの事前認証アクセスを許可するには、URLフィルタを使用する必要があります。このURLフィルタは、URLフィルタに入力したURLを持つWebサイトに関連するIPに対して、インターセプト (リダイレクト) ACLとセキュリティ (事前認証) ACLに動的にホールを形成します。DNS要求は9800に対して動的にスヌーピングされ、これらのURLのIPアドレスが学習されてACLに動的に追加されます。

ステップ 2 : DNAスペースドメインを許可するようにURLフィルタを設定します。[Configuration] > [Security] > [URL Filters] に移動し、[+Add]をクリックしてリスト名を設定し、タイプとしてPRE-AUTHを選択し、PERMITとしてアクションを選択し、URLとしてsplash.dnaspaces.io ( EMEAポータルを使用する場合は.eu ) を選択します。

The screenshot shows a configuration window titled "Add URL Filter". The form fields are as follows:

- List Name\*: DNASpaces
- Type: PRE-AUTH
- Action: PERMIT (with a green square indicator)
- URLs: splash.dnaspaces.io (with a green circular refresh icon)

At the bottom of the window, there are two buttons: "Cancel" and "Apply to Device".

CLI による設定 :

```
Andressi-9800L(config)#urlfilter list
```

```
Andressi-9800L(config-urlfilter-params)#action permit
```

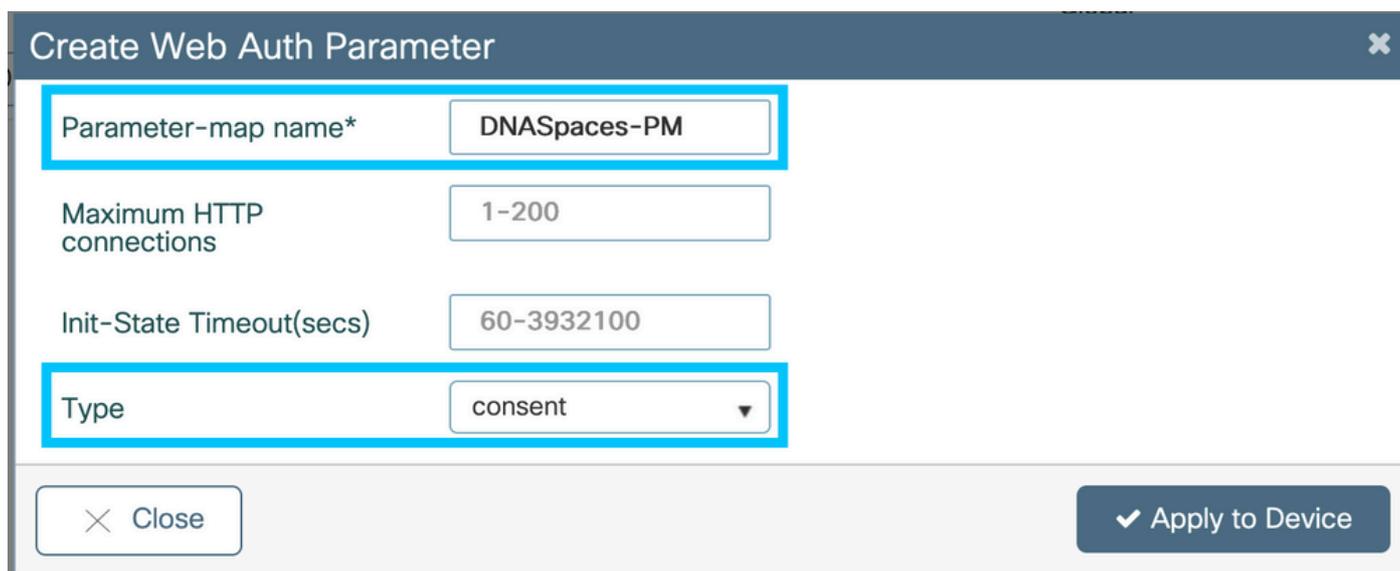
```
Andressi-9800L(config-urlfilter-params)#url splash.dnaspaces.io
```

SSIDは、RADIUSサーバを使用するように設定することも、使用せずに設定することもできます。キャプティブポータルルール設定の[Actions] セクションで[Session Duration]、[Bandwidth Limit]、または[Seamlessly Provision Internet]が設定されている場合は、SSIDをRADIUSサーバで設定する必要があります。そうでない場合は、RADIUSサーバを使用する必要はありません。DNAスペース上のすべての種類のポータルは、両方の構成でサポートされています。

## DNAスペース上のRADIUSサーバを使用しないキャプティブポータル

### 9800コントローラでのWeb認証パラメータマップの設定

ステップ 1 : [Configuration] > [Security] > [Web Auth] に移動し、[Add] をクリックして新しいパラメータマップを作成します。ポップアップウィンドウで、パラメータマップ名を設定し、タイプとして[Consent] を選択します。



Create Web Auth Parameter

Parameter-map name*	DNASpaces-PM
Maximum HTTP connections	1-200
Init-State Timeout(secs)	60-3932100
Type	consent

Close Apply to Device

ステップ 2 : 前のステップで設定したパラメータマップをクリックし、[Advanced] タブに移動して、ログインURLの[Redirect]、[Append for AP MAC Address]、[Append for Client MAC Address]、[Append for WLAN SSID and portal IPv4 Address] を入力します ( 図を参照 )。[Update & Apply] をクリックします。

General

**Advanced**

**Redirect to external server**

Redirect for log-in

Redirect On-Success

Redirect On-Failure

Redirect Append for AP MAC Address

Redirect Append for Client MAC Address

Redirect Append for WLAN SSID

Portal IPV4 Address

Portal IPV6 Address

**Customized page**

Login Failed Page  

Login Page  

Logout Page  

Login Successful Page  

✕ Cancel

 Update & Apply

**注：スプラッシュページのURLとIPv4リダイレクトアドレスを取得するには、[DNA Spaces]の[SSID]ページで[Configure Manually] オプションをクリックします。これは、このドキュメントの最後にある「DNAスペースポータルが使用するURLは何ですか？」で説明されています**

**注: Cisco DNA Spacesポータルは2つのIPアドレスに解決できますが、9800コントローラでは1つのIPアドレスしか設定できません。これらのIPアドレスのいずれかを選択し、ポータルのIPv4アドレスとしてパラメータマップで設定します。**

**注：次の点を確認します。仮想IPv4アドレスと仮想IPv6アドレスの両方が、グローバルWeb認証パラメータマップで設定されます。Virtual IPv6が設定されていない場合、クライアントは設定されたDNAスペースポータルではなく、内部ポータルにリダイレクトされることがあります。このため、仮想IPは常に設定する必要があります。「192.0.2.1」は仮想IPv4として、FE80:0:0:0:903A::11E4は仮想IPv6として設定できます。それ以外のIPを使用する理由はほとんどまたはまったくありません。**

CLI による設定：

```
Andressi-9800L(config)#parameter-map type webauth
Andressi-9800L(config-params-parameter-map)#type consent
Andressi-9800L(config-params-parameter-map)#timeout init-state sec 600
Andressi-9800L(config-params-parameter-map)#redirect for-login
```

```
Andressi-9800L(config-params-parameter-map)#redirect append ap-mac tag ap_mac
Andressi-9800L(config-params-parameter-map)#redirect append wlan-ssid tag wlan
Andressi-9800L(config-params-parameter-map)#redirect append client-mac tag client_mac
Andressi-9800L(config-params-parameter-map)#redirect portal ipv4
```

```
Andressi-9800L(config-params-parameter-map)#logout-window-disabled
Andressi-9800L(config-params-parameter-map)#success-window-disabled
```

## 9800コントローラでSSIDを作成します

ステップ 1：[Configuration] > [Tags & Profiles] > [WLANs] に移動し、[+Add] をクリックします。プロファイル名とSSIDを設定し、WLANを有効にします。SSID名が、「DNAスペースでのSSIDの作成」セクションのステップ3で設定した名前と同じであることを確認します。

**Add WLAN** ✕

General   Security   Advanced

Profile Name\*    Radio Policy

SSID\*    Broadcast SSID  ENABLED

WLAN ID\*

Status  ENABLED

ステップ 2 : [Security] > [Layer2] に移動します。[Layer 2 Security Mode]を[None] に設定し、[MAC Filtering]が無効になっていることを確認します。

**Add WLAN** ✕

General   **Security**   Advanced

Layer2   Layer3   AAA

Layer 2 Security Mode    Fast Transition

MAC Filtering    Over the DS

Transition Mode WLAN ID    Reassociation Timeout

ステップ 3 : [Security] > [Layer3] に移動します。Webポリシーを有効にし、Web認証パラメータマップを設定します。[Apply to Device] をクリックします。

Edit WLAN ✕

---

General
Security
Advanced
Add To Policy Tags

---

Layer2
Layer3
AAA

[Show Advanced Settings >>>](#)

Web Policy

Web Auth Parameter Map DNASpacesPM ▼

Authentication List Select a value ▼ ⓘ

For Local Login Method List to work, please make sure the configuration 'aaa authorization network default local' exists on the device

## 9800コントローラでのポリシープロファイルの設定

ステップ 1 : [Configuration] > [Tags & Profiles] > [Policy] に移動し、新しいポリシープロファイルを作成するか、デフォルトのポリシープロファイルを使用します。[access Policies]タブで、クライアントVLANを設定し、URLフィルタを追加します。

Edit Policy Profile ✕

---

General
Access Policies
QOS and AVC
Mobility
Advanced

RADIUS Profiling

Local Subscriber Policy Name Search or Select ▼

**WLAN Local Profiling**

Global State of Device Classification Disabled ⓘ

HTTP TLV Caching

DHCP TLV Caching

**VLAN**

VLAN/VLAN Group VLAN2672 ▼

Multicast VLAN Enter Multicast VLAN

**WLAN ACL**

IPv4 ACL Search or Select ▼

IPv6 ACL Search or Select ▼

**URL Filters**

Pre Auth DNASpaces ▼

Post Auth Search or Select ▼

## 9800コントローラでのポリシータグの設定

ステップ 1 : [Configuration] > [Tags & Profiles] > [Policy] に移動します。新しいポリシータグを作成するか、デフォルトのポリシータグを使用します。WLANをポリシータグのポリシープロファイルにマッピングします。

## Add Policy Tag

Name\*

DNASpaces-PT

Description

Enter Description

### WLAN-POLICY Maps: 1

+ Add

× Delete

WLAN Profile	Policy Profile
<input type="checkbox"/> 9800DNASpaces	DNASpaces-PP

1 - 1 of 1 items

### RLAN-POLICY Maps: 0

Cancel

Apply to Device

ステップ 2 : SSIDをブロードキャストするためにAPにポリシータグを適用します。  
[Configuration] > [Wireless] > [Access Points] に移動し、対象のAPを選択してポリシータグを追加します。これにより、APはCAPWAPトンネルを再起動し、9800コントローラに戻ります。

## General

## Interfaces

## High Availability

## Inventory

## Advanced

## General

AP Name*	<input type="text" value="9117-andressi"/>
Location*	<input type="text" value="default location"/>
Base Radio MAC	0cd0.f894.f2c0
Ethernet MAC	0cd0.f894.118c
Admin Status	<b>ENABLED</b> <input checked="" type="checkbox"/>
AP Mode	<input type="text" value="Local"/> ▼
Operation Status	Registered
Fabric Status	Disabled
LED State	<b>ENABLED</b> <input checked="" type="checkbox"/>
LED Brightness Level	<input type="text" value="8"/> ▼
CleanAir <a href="#">NSI Key</a>	

## Tags

⚠ Changing Tags will cause the AP to momentarily lose association with the Controller.

Policy	<input type="text" value="DNASpaces-PT"/> ▼
Site	<input type="text" value="default-site-tag"/> ▼
RF	<input type="text" value="default-rf-tag"/> ▼

## Version

Primary Software Version	16.12.2.132
Predownloaded Status	N/A
Predownloaded Version	N/A
Next Retry Time	N/A
Boot Version	1.1.2.4
IOS Version	16.12.2.132
Mini IOS Version	0.0.0.0

## IP Config

CAPWAP Preferred Mode	IPv6
SLAAC IPv6 Address	2001:172:16:30:ed0:f8ff:fe94:118c
Static IP (IPv4/IPv6)	<input type="checkbox"/>

## Time Statistics

Up Time	11 days 22 hrs 49 mins 12 secs
Controller Association Latency	3 mins 44 secs

## CLI による設定 :

```
Andressi-9800L(config)#wlan
```

```
Andressi-9800L(config-wlan)#no security wpa
Andressi-9800L(config-wlan)#no security wpa akm dot1x
Andressi-9800L(config-wlan)#no security wpa wpa2 ciphers aes
Andressi-9800L(config-wlan)#security web-auth
Andressi-9800L(config-wlan)#security web-auth parameter-map
Andressi-9800L(config-wlan)#no shutdown
```

```
Andressi-9800L(config)#wireless profile policy
```

```
Addresssi-9800L(config-wireless-policy) #vlan <id>  
Addresssi-9800L(config-wireless-policy) #urlfilter list pre-auth-filter
```

```
Addresssi-9800L(config-wireless-policy) #no shutdown
```

```
Addresssi-9800L(config) #wireless tag policy
```

```
Addresssi-9800L(config-policy-tag) #wlan
```

## DNAスペース上のRADIUSサーバを使用したキャプティブポータル

注:DNAスペースRADIUSサーバは、コントローラからのPAP認証のみをサポートします。

### 9800コントローラでのWeb認証パラメータマップの設定

ステップ 1 : Web認証パラメータマップを作成します。[Configuration] > [Security] > [Web Auth] に移動し、[+Add] をクリックしてパラメータマップ名を設定し、タイプとして[webauth] を選択します。

### Create Web Auth Parameter ✕

Parameter-map name*	DNASpaces-PM
Maximum HTTP connections	1-200
Init-State Timeout(secs)	60-3932100
Type	webauth ▼

✕ Close ✓ Apply to Device

ステップ 2 : ステップ1で設定したパラメータマップをクリックし、[Advanced] をクリックして

、ログインのリダイレクト、AP MACアドレスの追加、クライアントMACアドレスの追加、WLAN SSIDとポータルIPv4アドレスの追加を入力します。[Update & Apply] をクリックします。

General

**Advanced**

**Redirect to external server**

Redirect for log-in

Redirect On-Success

Redirect On-Failure

Redirect Append for AP MAC Address

Redirect Append for Client MAC Address

Redirect Append for WLAN SSID

Portal IPV4 Address

Portal IPV6 Address

**Customized page**

Login Failed Page  

Login Page  

Logout Page  

Login Successful Page  

✕ Cancel

 Update & Apply

注：スプラッシュページのURLとIPv4リダイレクトアドレスを取得するには、「WLC直接接続でのSSIDの作成」セクションの「アクセスコントロールリストの作成」セクションの「DNAスペースでのSSIDの作成」セクションのステップ3で作成したSSIDから、「手動で設定」オプションをクリックします。

注：Cisco DNA Spacesポータルは2つのIPアドレスに解決できますが、9800コントローラでは1つのIPアドレスしか設定できません。1つのケースでは、これらのIPアドレスのいずれかを選択して、ポータルのIPv4アドレスとしてパラメータマップに設定します。

注：仮想IPv4アドレスとIPv6アドレスの両方がグローバルWeb認証パラメータマップで設定されていることを確認します。仮想IPv6が設定されていない場合、クライアントは設定されているDNAスペースポータルではなく内部ポータルにリダイレクトされることがあります。このため、仮想IPは常に設定する必要があります。「192.0.2.1」は仮想IPv4として、FE80:0:0:0:903A::11E4は仮想IPv6として設定できます。それ以外のIPを使用する理由はほとんどまたはまったくありません。

CLIによる設定：

```
Andressi-9800L(config)#parameter-map type webauth
Andressi-9800L(config-params-parameter-map)#type webauth
Andressi-9800L(config-params-parameter-map)#timeout init-state sec 600
Andressi-9800L(config-params-parameter-map)#redirect for-login
```

```
Andressi-9800L(config-params-parameter-map)#redirect append ap-mac tag ap_mac
Andressi-9800L(config-params-parameter-map)#redirect append wlan-ssid tag wlan
Andressi-9800L(config-params-parameter-map)#redirect append client-mac tag client_mac
Andressi-9800L(config-params-parameter-map)#redirect portal ipv4
```

```
Andressi-9800L(config-params-parameter-map)#logout-window-disabled
Andressi-9800L(config-params-parameter-map)#success-window-disabled
```

## 9800コントローラでのRADIUSサーバの設定

ステップ 1：RADIUSサーバを設定します。Cisco DNA Spacesは、ユーザ認証のためにRADIUSサーバとして機能し、2つのIPアドレスで応答できます。[Configuration] > [Security] > [AAA] に移動し、[Add] をクリックして両方のRADIUSサーバを設定します。

Configuration > Security > AAA

+ AAA Wizard

Servers / Groups AAA Method List AAA Advanced

Add Delete

RADIUS

Servers Server Groups

TACACS+

Create AAA Radius Server

Name\* DNASpaces1

IPv4 / IPv6 Server Address\* 34.197.146.105

PAC Key

Key Type 0

Key\* .....

Confirm Key\* .....

Auth Port 1812

Acct Port 1813

Server Timeout (seconds) 1-1000

Retry Count 0-100

Support for CoA **ENABLED**

Cancel Apply to Device

注：プライマリサーバとセカンダリサーバの両方のRADIUS IPアドレスと秘密キーを取得するには、「DNAスペースでのSSIDの作成」セクションのステップ3で作成したSSIDから [Configure Manually] オプションをクリックし、[RADIUS Server Configuration] セクションに移動します。

ステップ 2：RADIUSサーバグループを設定し、両方のRADIUSサーバを追加します。  
[Configuration] > [Security] > [AAA] > [Servers / Groups] > [RADIUS] > [Server Groups] に移動し、[+add] をクリックして、サーバグループ名、MAC-DelimiterをHyphen、MAC-FilteringをMACとして設定し、2つのRADIUSサーバを割り当てます。

+ AAA Wizard

Servers / Groups    AAA Method List    AAA Advanced

+ Add

- Delete

RADIUS

TACACS+

LDAP

Servers    **Server Groups**

Name    Server 1    Server 2

0    10 items per page

Create AAA Radius Server Group

Name\*    DNASpaces

Group Type    RADIUS

MAC-Delimiter    hyphen

MAC-Filtering    mac

Dead-Time (mins)    1-1440

Available Servers

[Empty box for available servers]

>  
<

Assigned Servers

DNASpaces1  
DNASpaces2

Cancel

Apply to Device

ステップ 3 : [Authentication Method]リストを設定します。[Configuration] > [Security] > [AAA] > [AAA Method List] > [Authentication] に移動し、[+add] をクリックします。方式リスト名を設定し、タイプとしてloginを選択し、サーバグループを割り当てます。

Configuration > Security > AAA

+ AAA Wizard

Servers / Groups AAA Method List AAA Advanced

Authentication

Authorization

Accounting

+ Add - Delete

Name	Type	Group Type	Group1	Group2
default	dot1x	local	N/A	N/A

10 items per page

### Quick Setup: AAA Authentication

Method List Name\* DNASpaces

Type\* login

Group Type group

Fallback to local

Available Server Groups

- radius
- ldap
- tacacs+

Assigned Server Groups

- DNASpaces

Cancel Apply to Device

ステップ 4 : [Authorization Method]リストを設定します。[Configuration] > [Security] > [AAA] > [AAA Method List] > [Authorization] に移動し、[+add] をクリックします。方式リスト名を設定し、タイプとしてnetworkを選択し、サーバグループを割り当てます。

Configuration > Security > AAA

+ AAA Wizard

Servers / Groups    **AAA Method List**    AAA Advanced

Authentication

**Authorization**

Accounting

+ Add    × Delete

Name	Type	Group Type	Group1	Group2
<input type="checkbox"/> MeshAP	credential-download	local	N/A	N/A

10 items per page

**Quick Setup: AAA Authorization**

Method List Name\*    DNASpaces

Type\*    network

Group Type    group

Fallback to local   

Authenticated   

Available Server Groups

radius  
ldap  
tacacs+

Assigned Server Groups

DNASpaces

Cancel    Apply to Device

## 9800コントローラでSSIDを作成します

ステップ 1 : [Configuration] > [Tags & Profiles] > [WLANs] に移動し、[+Add] をクリックします。プロファイル名とSSIDを設定し、WLANを有効にします。SSID名が、「DNAスペースでのSSIDの作成」セクションのステップ3で設定した名前と同じであることを確認します。

### Add WLAN ✕

General   Security   Advanced

Profile Name\*    Radio Policy

SSID\*    Broadcast SSID

WLAN ID\*

Status

ステップ 2 : [Security] > [Layer2] に移動します。[Layer 2 Security Mode]を[None] に設定し、MACフィルタリングを有効にして、許可リストを追加します。

### Add WLAN ✕

General   **Security**   Advanced

Layer2   Layer3   AAA

Layer 2 Security Mode    Fast Transition

MAC Filtering    Over the DS

Transition Mode WLAN ID    Reassociation Timeout

Authorization List\*

ステップ 3 : [Security] > [Layer3] に移動します。Webポリシーを有効にし、Web認証パラメータマップと認証リストを設定します。On Mac Filter Failureを有効にし、事前認証ACLを追加します。[Apply to Device] をクリックします。

## Add WLAN



General **Security** Advanced

Layer2 **Layer3** AAA

Web Policy   
Web Auth Parameter Map DNASpaces-PM  
Authentication List DNASpaces

*For Local Login Method List to work, please make sure the configuration 'aaa authorization network default local' exists on the device*

<< Hide

On Mac Filter Failure

Splash Web Redirect  DISABLED

Preauthentication ACL

IPv4 DNASpaces-ACL

IPv6 None

Cancel

Apply to Device

## 9800コントローラでのポリシープロファイルの設定

ステップ 1 : [Configuration] > [Tags & Profiles] > [Policy] に移動し、新しいポリシープロファイルを作成するか、デフォルトのポリシープロファイルを使用します。[access Policies]タブで、クライアントVLANを設定し、URLフィルタを追加します。

## Edit Policy Profile



General **Access Policies** QOS and AVC Mobility Advanced

RADIUS Profiling   
Local Subscriber Policy Name Search or Select

### WLAN Local Profiling

Global State of Device Classification Disabled ⓘ

HTTP TLV Caching

DHCP TLV Caching

### VLAN

VLAN/VLAN Group VLAN2672

Multicast VLAN Enter Multicast VLAN

### WLAN ACL

IPv4 ACL Search or Select

IPv6 ACL Search or Select

### URL Filters

Pre Auth DNASpaces

Post Auth Search or Select

ステップ 2 : [Advanced]タブで、[AAA Override]を有効にし、オプションでアカウントング方式リストを設定します。

Edit Policy Profile ✕

---

General
Access Policies
QOS and AVC
Mobility
Advanced

**WLAN Timeout**

Session Timeout (sec)

Idle Timeout (sec)

Idle Threshold (bytes)

Client Exclusion Timeout (sec)

**DHCP**

IPv4 DHCP Required

DHCP Server IP Address

Show more >>>

**AAA Policy**

Allow AAA Override

NAC State

Policy Name

Accounting List

Fabric Profile

Umbrella Parameter Map

mDNS Service Policy  [Clear](#)

**WLAN Flex Policy**

VLAN Central Switching

Split MAC ACL

**Air Time Fairness Policies**

2.4 GHz Policy

5 GHz Policy

## 9800コントローラでのポリシータグの設定

ステップ 1 : [Configuration] > [Tags & Profiles] > [Policy] に移動します。新しいポリシータグを作成するか、デフォルトのポリシータグを使用します。WLANをポリシータグのポリシープロファイルにマッピングします。

## Add Policy Tag



Name\*

DNASpaces-PT

Description

Enter Description

### WLAN-POLICY Maps: 1

+ Add

× Delete

WLAN Profile	Policy Profile
<input type="checkbox"/> 9800DNASpaces	DNASpaces-PP

1 - 1 of 1 items

### RLAN-POLICY Maps: 0

↶ Cancel

📄 Apply to Device

ステップ 2 : SSIDをブロードキャストするためにAPにポリシータグを適用します。  
[Configuration] > [Wireless] > [Access Points] に移動し、対象のAPを選択してポリシータグを追加します。これにより、APはCAPWAPトンネルを再起動し、9800コントローラに戻ります。

## General

## Interfaces

## High Availability

## Inventory

## Advanced

## General

AP Name*	9117-andressi
Location*	default location
Base Radio MAC	0cd0.f894.f2c0
Ethernet MAC	0cd0.f894.118c
Admin Status	ENABLED <input checked="" type="checkbox"/>
AP Mode	Local ▼
Operation Status	Registered
Fabric Status	Disabled
LED State	ENABLED <input checked="" type="checkbox"/>
LED Brightness Level	8 ▼
CleanAir <a href="#">NSI Key</a>	

## Tags

⚠ Changing Tags will cause the AP to momentarily lose association with the Controller.

Policy	DNASpaces-PT ▼
Site	default-site-tag ▼
RF	default-rf-tag ▼

## Version

Primary Software Version	16.12.2.132
Predownloaded Status	N/A
Predownloaded Version	N/A
Next Retry Time	N/A
Boot Version	1.1.2.4
IOS Version	16.12.2.132
Mini IOS Version	0.0.0.0

## IP Config

CAPWAP Preferred Mode	IPv6
SLAAC IPv6 Address	2001:172:16:30:ed0:f8ff:fe94:118c
Static IP (IPv4/IPv6)	<input type="checkbox"/>

## Time Statistics

Up Time	11 days 22 hrs 49 mins 12 secs
Controller Association Latency	3 mins 44 secs

## CLI による設定 :

```
Andressi-9800L(config)#wlan
```

```
Andressi-9800L(config-wlan)#ip access-group web
```

```
Andressi-9800L(config-wlan)#no security wpa
```

```
Andressi-9800L(config-wlan)#no security wpa akm dot1x
```

```
Andressi-9800L(config-wlan)#no security wpa wpa2 ciphers aes
Andressi-9800L(config-wlan)#mac-filtering
```

```
Andressi-9800L(config-wlan)#security web-auth
Andressi-9800L(config-wlan)#security web-auth authentication-list
```

```
Andressi-9800L(config-wlan)#security web-auth on-macfilter-failure
Andressi-9800L(config-wlan)#security web-auth parameter-map
Andressi-9800L(config-wlan)#no shutdown
```

```
Andressi-9800L(config)#wireless profile policy
```

```
Andressi-9800L(config-wireless-policy)#aaa-override
Andressi-9800L(config-wireless-policy)#accounting-list
```

```
Andressi-9800L(config-wireless-policy)#vlan <id>
Andressi-9800L(config-wireless-policy)#urlfilter list pre-auth-filter
```

```
Andressi-9800L(config-wireless-policy)#no shutdown
```

```
Andressi-9800L(config)#wireless tag policy
```

```
Andressi-9800L(config-policy-tag)#wlan
```

## グローバルパラメータマップの設定

推奨されない手順：次のコマンドを実行してHTTPSリダイレクションを許可します。ただし、クライアントのオペレーティングシステムでキャプティブポータルの検出が行われ、CPU使用率が高くなり、常に証明書の警告がスローされる場合、クライアントのHTTPSトラフィックでのリダイレクションは必要ありません。そのため、特定の使用例で必要な場合を除き、この設定は避けることをお勧めします。

```
Andressi-9800L(config)#parameter-map type webauth global
Andressi-9800L(config-params-parameter-map)#intercept-https-enable
```

注: Cisco Catalyst 9800シリーズワイヤレスコントローラにインストールされた仮想IP用の有効なSSL証明書が必要です。

ステップ 1: 拡張子が.p12の署名付き証明書ファイルをTFTPサーバにコピーし、次のコマンドを実行して、証明書を9800コントローラに転送してインストールします。

```
Andressi-9800L(config)#crypto pki import
```

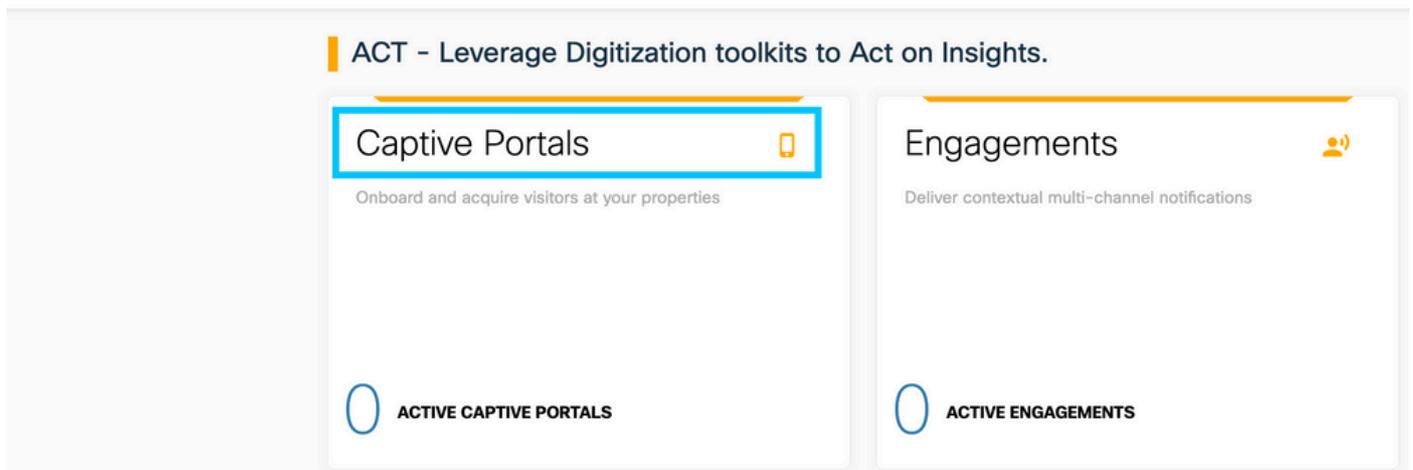
ステップ 2: インストールされた証明書をWeb認証パラメータマップにマップするには、次のコマンドを実行します。

```
Andressi-9800L(config)#parameter-map type webauth global
Andressi-9800L(config-params-parameter-map)#trustpoint
```

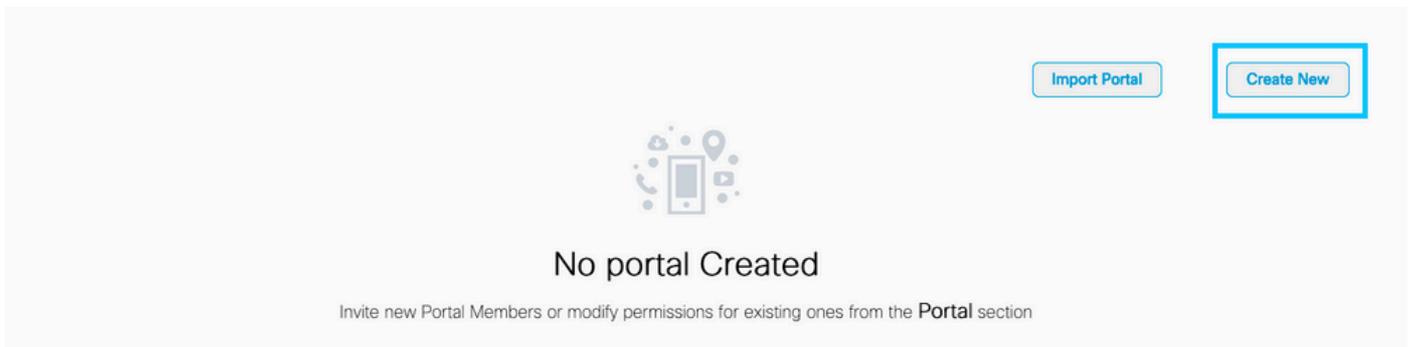
## DNAスペースにポータルを作成する

ステップ 1: DNA Spacesのダッシュボードで[Captive Portals] をクリックします。

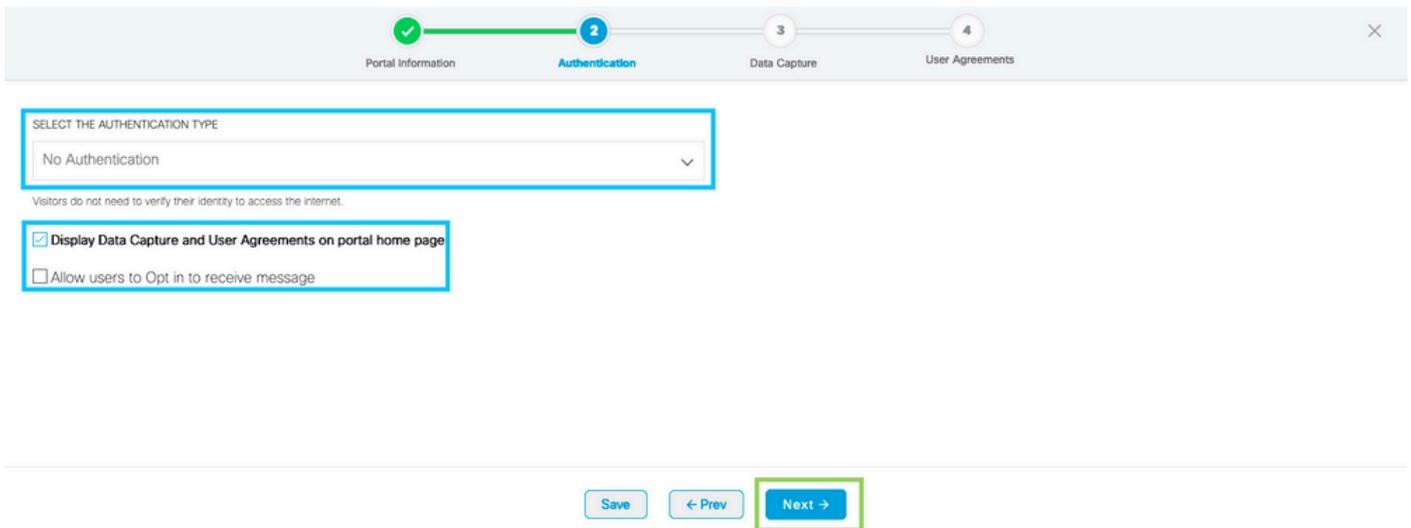
☰ Cisco DNA Spaces **ACT**



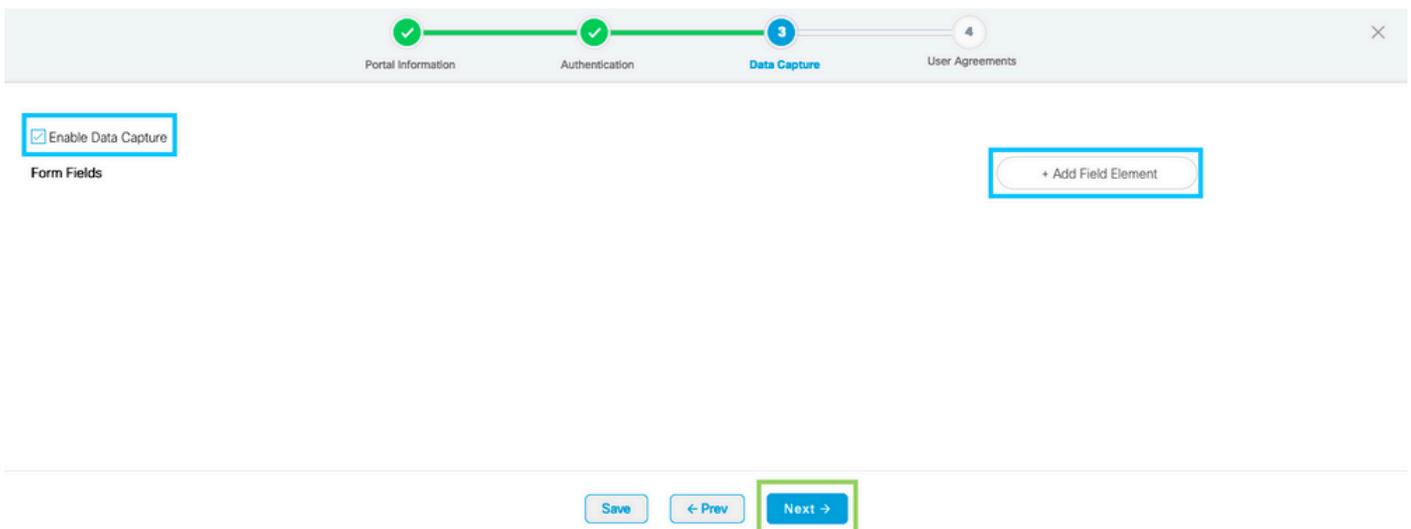
ステップ 2: [Create New] をクリックし、ポータル名を入力して、ポータルを使用できる場所を選択します。



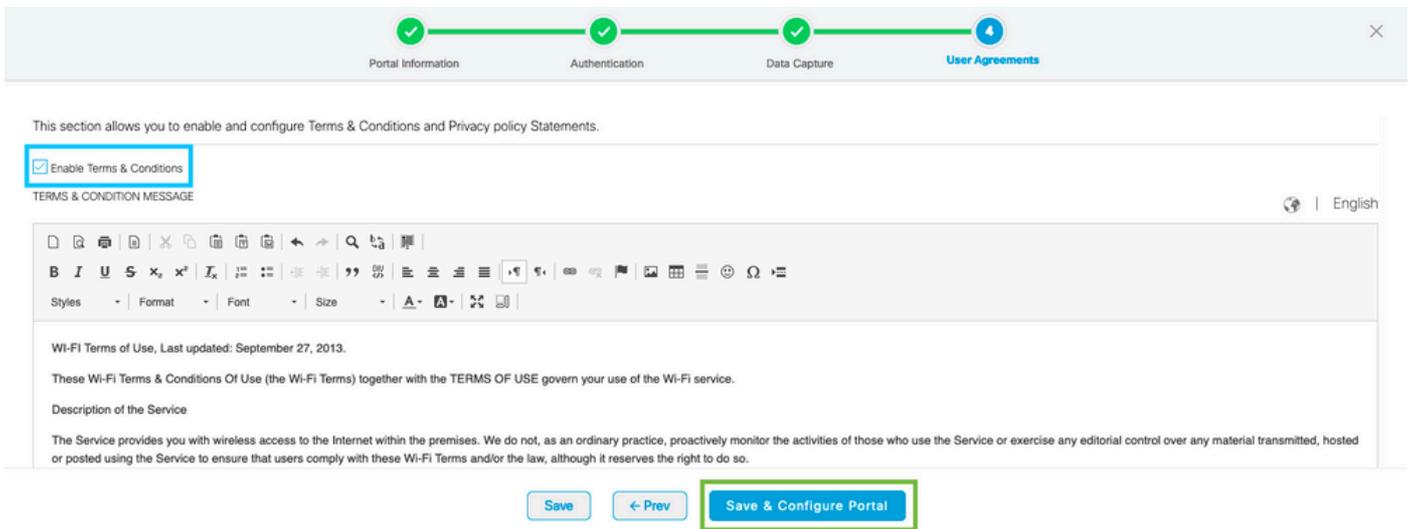
ステップ 3 : 認証タイプを選択し、ポータルホームページにデータの取り込みとユーザ契約を表示するかどうか、およびユーザがメッセージを受信することを許可するかどうかを選択します。[Next] をクリックします。



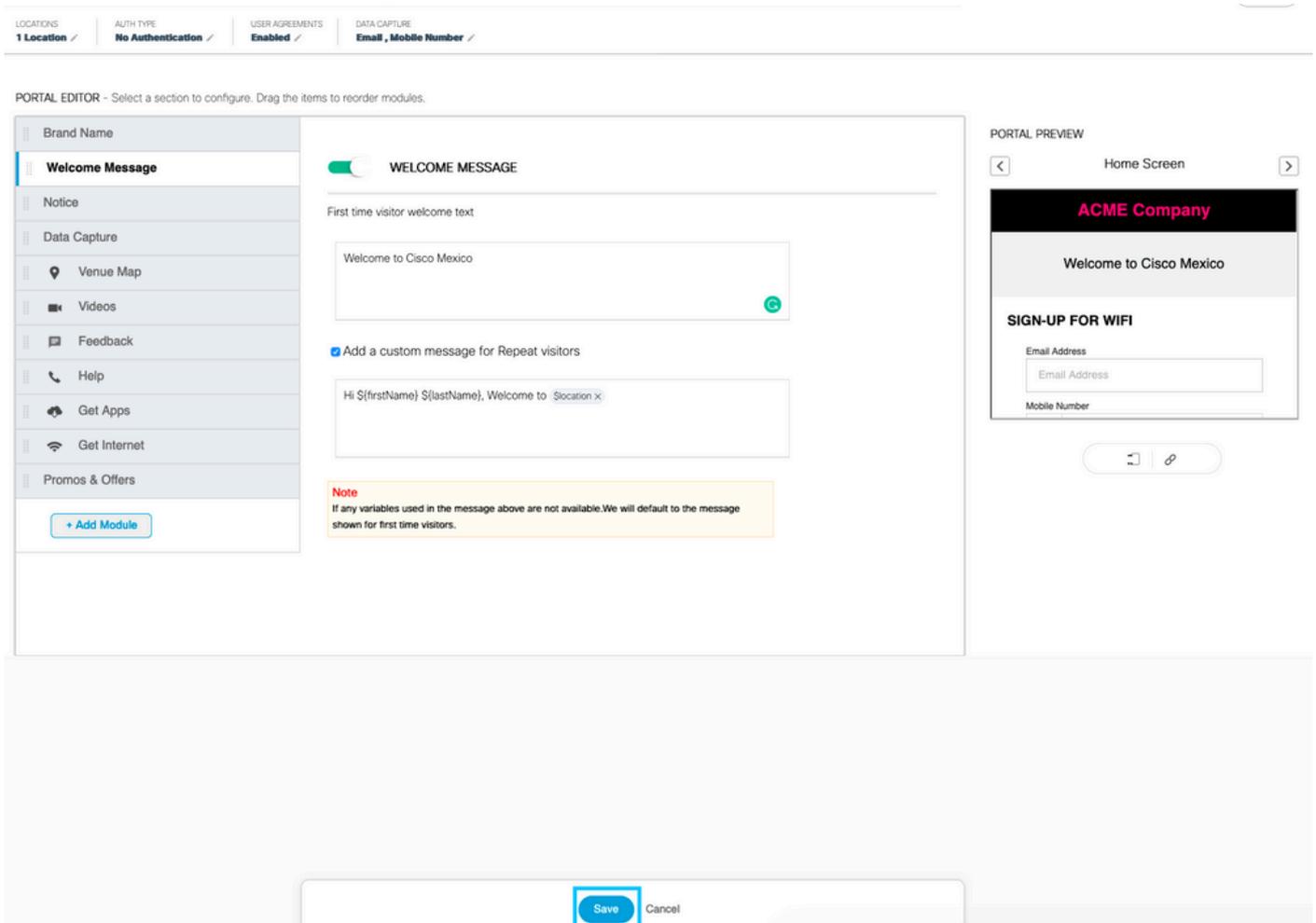
ステップ 4 : データキャプチャ要素を構成します。ユーザからデータをキャプチャする場合は、[Enable Data Capture] ボックスをオンにし、[Add Field Element] をクリックして目的のフィールドを追加します。[Next] をクリックします。



ステップ 5 : [Enable Terms & Conditions] にチェックマークを入れ、[Save & Configure Portal] をクリックします。

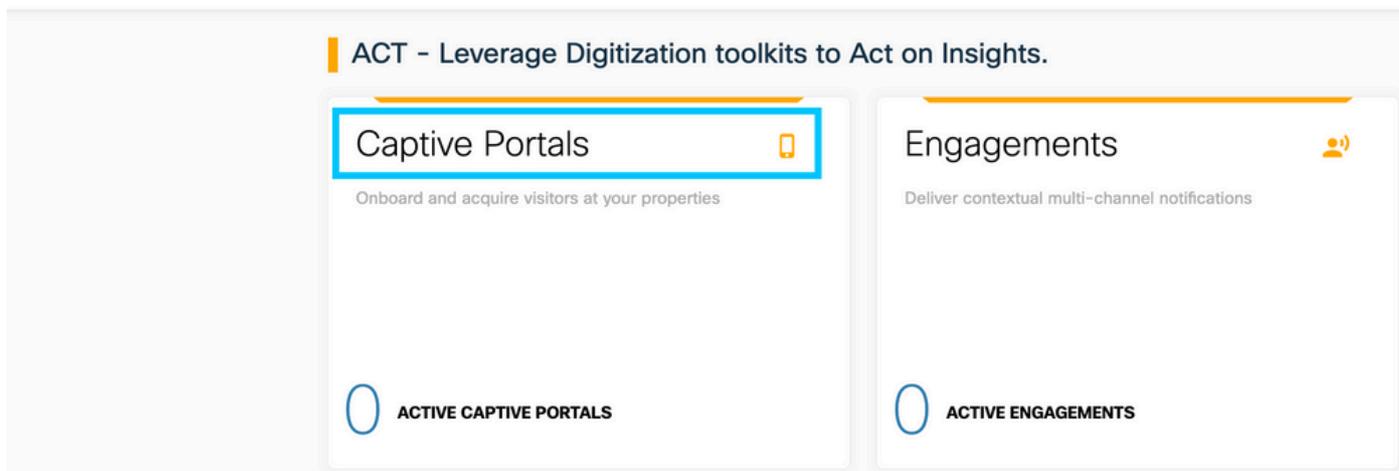


手順 6 : 必要に応じてポータルを編集し、[Save] をクリックします。



## DNAスペースでのキャプティブポータルルールの設定

ステップ 1 : DNA Spacesのダッシュボードで[Captive Portals] をクリックします。



ステップ 2 : キャプティブポータルメニューを開き、[Captive Portal Rules] をクリックします。



ステップ 3 : + [Create New Rule]をクリックします。ルール名を入力し、以前に設定したSSIDを選択します。



ステップ 4 : ポータルを使用できる場所を選択します。[LOCATIONS] セクションで[Add Locations] をクリックします。「ロケーション階層」から目的のロケーションを選択します。

## Choose Locations

### Location Hierarchy

MEX-EAST-1	<input type="checkbox"/>
+ 5508-1-CMX	<input type="checkbox"/>
+ 5508-2-Connector	<input type="checkbox"/>
+ 5520-1-DirectConnect	<input type="checkbox"/>
9800L-DirectConnect	<input checked="" type="checkbox"/>

### Selected Locations

9800L-DirectConnect X

ステップ 5：キャプティブポータルのアクションを選択します。この場合、ルールがヒットすると、ポータルが表示されます。[Save & Publish] をクリックします。

**ACTIONS**

- Show Captive Portal**  
Choose a Portal to be displayed to Users when they connect to the wifi.  
9800DNASpaces1
- Session Duration
- Bandwidth Limit
- Seamlessly Provision Internet  
Directly provision internet without showing any authentication
- Deny Internet  
Stop users from accessing the internet

Tags these users as  
Choose - Associate/Disassociate users to chosen tags.  
+ Add Tags

Trigger API

**Save & Publish** Save

**SCHEDULE**

**ACTION**  
Show Captive Portal  
Portal : 9800DNASpaces1

## DNA空間から具体的な情報を得る

DNA空間が使用するIPアドレスは何ですか。

DNA Spaceが地域のポータルに使用するIPアドレスを確認するには、DNA Spaceホームの Captival Portalページに移動します。左側のメニューで**SSID**をクリックし、次にSSIDの下で **Configure manually** をクリックします。IPアドレスはACLの例で説明されています。これらは、ACLおよびwebauthパラメータマップで使用するポータルのIPアドレスです。DNA空間は、コントロールプレーンのNMSP/クラウド接続全体に対して他のIPアドレスを使用します。



表示されるポップアップの最初のセクションで、手順7にACL定義で指定されたIPアドレスが表示されます。これらの手順を実行してACLを作成する必要はありません。IPアドレスを書き留めておくだけです。これらは、お客様の地域のポータルで使用されるIPです

## Configure



### Creating the Access Control List

To create the access control list, perform the following steps:

- 1 Log in to the WLC Direct Connect with your WLC Direct Connect credentials.
- 2 Choose **Security > Access Control Lists > Access Control Lists**.  
For FlexConnect local mode, choose **Security > Access Control Lists > FlexConnect ACLs**.
- 3 To add an ACL, click **New**.
- 4 In the **New** page that appears, enter the following:
  - a. In the **Access Control List Name** field, enter a name for the new ACL.  

**Note:**  
You can enter up to 32 alphanumeric characters.
  - b. Choose the ACL type as **IPv4**.  

**Note:**  
This option is not available for FlexConnect ACLs.
  - c. Click **Apply**.
- 5 When the **Access Control Lists** page reappears, click the name of the new ACL.
- 6 In the **Edit** page that appears, click **Add New Rule**. The **Rules > New** page appears.
- 7 Configure a rule for this ACL with the following wall garden ranges.

No	Dir	Source IP Address/Netmask	Destination IP Address/Netmask	Protocol	Source Port Range	Dest Port Range	DSCP	Action
1.	Any	0.0.0.0/0.0.0.0	54.77.207.183/255.255.255.255	TCP	Any	HTTPS	Any	Permit
2.	Any	54.77.207.183/255.255.255.255	0.0.0.0/0.0.0.0	TCP	HTTPS	Any	Any	Permit
3.	Any	0.0.0.0/0.0.0.0	34.252.175.120/255.255.255.255	TCP	Any	HTTPS	Any	Permit
4.	Any	34.252.175.120/255.255.255.255	0.0.0.0/0.0.0.0	TCP	HTTPS	Any	Any	Permit

**DNAスペースログインポータルが使用するURLは何ですか。**

お住まいの地域のポータルで使用されているログインポータルURL DNA Spacesを確認するには、DNA SpaceホームのCaptival Portalページに移動します。左側のメニューで**SSID**をクリックし、次に**SSID**の下で**Configure manually**をクリックします。



表示されるポップアップで下にスクロールし、2番目のセクションのステップ7に、9800のパラメータマップで設定する必要があるURLが表示されます。

### Creating the SSIDs in WLC Direct Connect

To create the SSIDs in the WLC Direct Connect, perform the following steps:

- 1 In the WLC Direct Connect main window, click the **WLANS** tab.
- 2 To create a WLAN, choose **Create New** from the drop-down list at the right side of the page, and click **Go**.
- 3 In the New page that appears, enter the WLAN details like Type, Profile Name, SSID, and so on.
- 4 Click **Apply**.  
The WLAN added appears in the WLANS page.
- 5 Click the WLAN you have newly created.
- 6 Choose **Security > Layer 2** , and configure the Layer 2 Security as **None** .
- 7 In the **Layer 3 tab** , do the following configurations:
  - a.From the Layer 3 security drop-down list, choose **Web Policy** .
  - b.Choose the **Passthrough** radio button.
  - c.In the Preauthentication ACL area, from the IPv4 drop-down list, choose the ACL created earlier.
  - d.Select the Enable check box for the Sleeping Client.
  - e.Select the Enable check box for the Override Global Config.
  - f.From the Web Auth Type drop-down list, choose **External** .
  - g.In the URL field that appears, enter the Cisco DNA Spaces splash URL.

<https://splash.dnaspaces.eu/p2/emeabru2>

DNAスペースのRADIUSサーバの詳細は何ですか。

使用する必要があるRADIUSサーバのIPアドレスと共有秘密を確認するには、DNA SpaceホームのCaptive Portalページに移動します。左側のメニューで**SSID**をクリックし、次にSSIDの下で**Configure manually**をクリックします。



表示されるポップアップで、3番目のセクション(RADIUS)を下にスクロールすると、ステップ7にRADIUS認証のIP/ポートと共有秘密が表示されます。アカウントングはオプションで、手順12で説明します。

- 7 In the New page that appears, enter the details of the radius server for authentication, such as server IP address, port number, and secret key, select the Server Status as **Enabled** , and click **Apply**.

Host: 52.51.31.103,34.241.1.84
Port: 1812
Secret Key: emeab1299E2PqvJK

- 8 Choose **Radius > Accounting**.

The Radius Accounting Servers page appears.

- 9 From the Acct Called Station ID Type, choose **AP MAC Address:SSID**.

- 10 From the MAC Delimiter drop-down list, choose **Hyphen**.

- 11 Click **New**.

- 12 In the New page that appears, enter the details of the radius server for accounting, such as server IP address, port number, and secret key, select the Server Status as **Enabled** , and click **Apply**.

Host: 52.51.31.103,34.241.1.84
Port: 1813
Secret Key: emeab1299E2PqvJK

## 確認

SSIDに接続されているクライアントのステータスを確認するには、[Monitoring] > [Clients] に移動し、デバイスのMACアドレスをクリックして[Policy Manager State]を探します。

Client	
360 View <b>General</b> QOS Statistics    ATF Statistics    Mobility History    Call Statistics	
Client Properties    AP Properties    Security Information    Client Statistics    QOS Properties	
Wireless LAN Id	1
WLAN Profile Name	9800-DNASpaces1
Wireless LAN Network Name (SSID)	9800-DNASpaces1
BSSID	10b3.d694.00ef
Uptime(sec)	64 seconds
Session Timeout	1800 sec (Remaining time: 1762 sec)
Session Warning Time	Timer not running
Client Active State	Active
Power Save mode	OFF
Current TxRateSet	m2 ss1
Supported Rates	9.0,18.0,36.0,48.0,54.0
Join Time Of Client	03/11/2020 17:47:25 Central
Policy Manager State	Run

## トラブルシューティング

### 一般的な問題

- 1.コントローラの仮想インターフェイスにIPアドレスが設定されていない場合、クライアントはパラメータマップで設定されているリダイレクトポータルではなく、内部ポータルにリダイレクトされます。
- 2.クライアントがDNAスペースのポータルにリダイレクトされている間に503エラーを受信する場合は、コントローラがDNAスペースのロケーション階層で設定されていることを確認します。

### 常時オンのトレース

WLC 9800 では、ALWAYS-ON トレース機能を利用できます。これにより、クライアント接続に関連するすべてのエラー、警告、および通知レベルのメッセージが常にログに記録され、発生後にインシデントまたは障害状態のログを表示できます。

注：生成されるログの量に応じて、数時間から数日に戻ることができます。

9800 WLCがデフォルトで収集したトレースを表示するには、SSH/Telnet経由で9800 WLCに接続し、次の手順を実行します（セッションをテキストファイルに記録していることを確認します）。

ステップ 1：問題が発生した時点までのログを追跡できるように、コントローラの現在時刻を確認します。

```
# show clock
```

ステップ 2：システム設定に従って、コントローラバッファまたは外部syslogからsyslogを収集します。これにより、システムの状態とエラー（ある場合）を簡単に確認できます。

```
# show logging
```

ステップ 3 : デバッグ条件が有効になっているかどうかを確認します。

```
# show debugging
```

```
Cisco IOS-XE Conditional Debug Configs:
```

```
Conditional Debug Global State: Stop
```

```
Cisco IOS-XE Packet Tracing Configs:
```

```
Packet Infra debugs:
```

```
Ip Address
```

```
Port
```

```
-----|-----
```

注 : リストされている条件が表示される場合は、有効な条件 ( MACアドレス、IPアドレスなど ) に遭遇するすべてのプロセスについて、トレースがデバッグレベルでログされていることを意味します。これにより、ログの量が増加します。したがって、デバッグが必要ないときは、すべての条件をクリアすることをお勧めします。

ステップ 4 : テスト対象のMACアドレスがステップ3の条件としてリストされていない場合は、特定のMACアドレスのalways-on notice levelトレースを収集します。

```
# show logging profile wireless filter { mac | ip } { <aaaa.bbbb.cccc> | <a.b.c.d> } to-file  
always-on-<FILENAME.txt>
```

セッションで内容を表示するか、ファイルを外部 TFTP サーバーにコピーできます。

```
# more bootflash:always-on-<FILENAME.txt>
```

```
or
```

```
# copy bootflash:always-on-<FILENAME.txt> tftp://a.b.c.d/path/always-on-<FILENAME.txt>
```

## 条件付きデバッグとラジオアクティブトレース

常時オンのトレースでは、調査中の問題のトリガーを判別するのに十分な情報が得られない場合は、条件付きデバッグを有効にして、無線アクティブ(RA)トレースをキャプチャできます。これにより、指定された条件 ( この場合はクライアントMACアドレス ) と対話するすべてのプロセスにデバッグレベルのトレースが提供されます。条件付きデバッグを有効にするには、次の手順を実行します。

ステップ 1 : デバッグ条件が有効になっていないことを確認します。

```
# clear platform condition all
```

ステップ 2 : モニタするワイヤレスクライアントのMACアドレスのデバッグ条件を有効にします。

次のコマンドは、指定された MAC アドレスの 30 分間 ( 1800 秒 ) のモニターを開始します。必要に応じて、この時間を最大 2085978494 秒まで増やすことができます。

```
# debug wireless mac <aaaa.bbbb.cccc> {monitor-time <seconds>}
```

**注:**複数のクライアントを同時にモニタするには、MACアドレスごとにdebug wireless mac <aaaa.bbbb.cccc>コマンドを実行します。

**注:**ターミナルセッションでは、クライアントアクティビティの出力は表示されません。これは、後で表示できるように内部でバッファされているためです。

ステップ 3 : 監視する問題または動作を再現します。

ステップ 4 : デフォルトまたは設定されたモニタ時間がアップする前に問題が再現された場合は、デバッグを停止します。

```
# no debug wireless mac <aaaa.bbbb.cccc>
```

モニター時間が経過するか、debug wireless が停止すると、9800 WLC では次の名前のローカルファイルが生成されます。

```
ra_trace_MAC_aaaabbbbcccc_HHMMSS.XXX_timezone_DayWeek_Month_Day_year.log
```

ステップ 5 : MAC アドレスアクティビティのファイルを収集します。 ra trace.log を外部サーバーにコピーするか、出力を画面に直接表示できます。

RAトレースファイルの名前を確認します

```
# dir bootflash: | inc ra_trace
```

ファイルを外部サーバーにコピーします。

```
# copy bootflash:ra_trace_MAC_aaaabbbbcccc_HHMMSS.XXX_timezone_DayWeek_Month_Day_year.log
```

```
tftp://a.b.c.d/ra-FILENAME.txt
```

内容を表示します。

```
# more bootflash:ra_trace_MAC_aaaabbbbcccc_HHMMSS.XXX_timezone_DayWeek_Month_Day_year.log
```

手順 6 : 根本原因がまだ明らかでない場合は、デバッグレベルのログのより詳細なビューである内部ログを収集します。クライアントを再度デバッグする必要はありません。すでに収集され、内部で保存されているデバッグログをさらに詳しく調べるだけです。

```
# show logging profile wireless internal filter { mac | ip } { <aaaa.bbbb.cccc> | <a.b.c.d> }
```

```
to-file ra-internal-<FILENAME>.txt
```

**注:**このコマンド出力は、すべてのプロセスのすべてのログレベルのトレースを返し、非常に膨大です。これらのトレースを解析する場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。

ra-internal-FILENAME.txt を外部サーバーにコピーするか、出力を画面に直接表示できます。

ファイルを外部サーバーにコピーします。

```
# copy bootflash:ra-internal-<FILENAME>.txt tftp://a.b.c.d/ra-internal-<FILENAME>.txt
```

内容を表示します。

```
# more bootflash:ra-internal-<FILENAME>.txt
```

手順 7 : デバッグ条件を削除します。

```
# clear platform condition all
```

注 : トラブルシューティングセッションの後は、必ずデバッグ条件を削除してください。

## 成功した試行の例

これは、RADIUSサーバを使用せずにSSIDに接続しているときに、アソシエーション/認証プロセス中に各フェーズの識別に成功した場合のRA\_tracesからの出力です。

802.11アソシエーション/認証 :

```
Association received. BSSID 10b3.d694.00ee, WLAN 9800DNASpaces, Slot 1 AP 10b3.d694.00e0,
2802AP-9800L
Received Dot11 association request. Processing started,SSID: 9800DNASpaces1, Policy profile:
DNASpaces-PP, AP Name: 2802AP-9800L, Ap Mac Address: 10b3.d694.00e0 BSSID MAC0000.0000.0000 wlan
ID: 1RSSI: 0, SNR: 32
Client state transition: S_CO_INIT -> S_CO_ASSOCIATING
dot11 send association response. Sending association response with resp_status_code: 0
dot11 send association response. Sending assoc response of length: 144 with resp_status_code: 0,
DOT11_STATUS: DOT11_STATUS_SUCCESS
Association success. AID 1, Roaming = False, WGB = False, 11r = False, 11w = False
DOT11 state transition: S_DOT11_INIT -> S_DOT11_ASSOCIATED
Station Dot11 association is successful
```

IP Learnプロセス :

```
IP-learn state transition: S_IPLEARN_INIT -> S_IPLEARN_IN_PROGRESS
Client IP learn successful. Method: ARP IP: 10.10.30.42
IP-learn state transition: S_IPLEARN_IN_PROGRESS -> S_IPLEARN_COMPLETE
Received ip learn response. method: IPLEARN_METHOD_AR
```

レイヤ3認証 :

```
Triggered L3 authentication. status = 0x0, Success
Client state transition: S_CO_IP_LEARN_IN_PROGRESS -> S_CO_L3_AUTH_IN_PROGRESS
L3 Authentication initiated. LWA
Client auth-interface state transition: S_AUTHIF_L2_WEBAUTH_DONE -> S_AUTHIF_WEBAUTH_PENDING
```

```
Client auth-interface state transition: S_AUTHIF_L2_WEBAUTH_DONE -> S_AUTHIF_WEBAUTH_PENDING
[webauth-httpd] [17798]: (info): capwap_90000005[34e1.2d23.a668][10.10.30.42]GET rcvd when in
INIT state
[webauth-httpd] [17798]: (info): capwap_90000005[34e1.2d23.a668][10.10.30.42]HTTP GET request
[webauth-httpd] [17798]: (info): capwap_90000005[34e1.2d23.a668][10.10.30.42]Parse GET, src
[10.10.30.42] dst [13.107.4.52] url [http://www.msftconnecttest.com/connecttest.txt]
```

```
[webauth-httpd] [17798]: (info): capwap_90000005[34e1.2d23.a668][10.10.30.42]Retrieved user-agent = Microsoft NCSI
[webauth-httpd] [17798]: (info): capwap_90000005[34e1.2d23.a668][10.10.30.42]GET rcvd when in LOGIN state
[webauth-httpd] [17798]: (info): capwap_90000005[34e1.2d23.a668][10.10.30.42]HTTP GET request
[webauth-httpd] [17798]: (info): capwap_90000005[34e1.2d23.a668][10.10.30.42]Parse GET, src [10.10.30.42] dst [151.101.24.81] url [http://www.bbc.com/]
[webauth-httpd] [17798]: (info): capwap_90000005[34e1.2d23.a668][10.10.30.42]Retrieved user-agent = Mozilla/5.0 (Windows NT 10.0; WOW64; Trident/7.0; rv:11.0) like Gecko
[webauth-httpd] [17798]: (info): capwap_90000005[34e1.2d23.a668][10.10.30.42]POST rcvd when in LOGIN state
```

**レイヤ3認証に成功し、クライアントをRUN状態に移行します。**

```
[34e1.2d23.a668:capwap_90000005] Received User-Name 34E1.2D23.A668 for client 34e1.2d23.a668
L3 Authentication Successful. ACL:[]
Client auth-interface state transition: S_AUTHIF_WEBAUTH_PENDING -> S_AUTHIF_WEBAUTH_DONE
%CLIENT_ORCH_LOG-6-CLIENT_ADDED_TO_RUN_STATE: Username entry (34E1.2D23.A668) joined with ssid (9800DNASpaces) for device with MAC: 34e1.2d23.a668
Managed client RUN state notification: 34e1.2d23.a668
Client state transition: S_CO_L3_AUTH_IN_PROGRESS -> S_CO_RU
```

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。